

2024 6/25

No.2213

毎月第2・第4火曜日発行

# 政経 かながわ

一般社団法人  
— 神奈川政経懇話会 —



川崎沖縄県人会が6月9日、創立100周年記念式典を川崎市幸区で開き、琉球舞踊などが披露された。関東大震災を契機に発足、最も歴史の長い沖縄県人会とされる。



視点描	3
拡張続けるQRコード	
講演録①	4
かわさき産業まちづくり ～この百年と未来～ 川崎市産業振興財団理事長 三浦 淳	
講演録②	7
キングスカイフロント及びiCONMについて ナノ医療イノベーションセンター副センター長 永井 浩二	
キングスカイフロント視察	9
特集	10
消滅可能性自治体 どう読み解くか 人口の未来は経済界が握る	
神奈川景気データファイル	14

### 事務局だより

◇2024年7月定例講演会  
7月3日(水)午後1時30分～3時  
県民共済みらいホール  
(みなとみらい21)  
講師：歴史作家・伊東 潤氏  
演題：「武将たちの決断～歴史から学ぶ七つの教訓」

◇2024年8月定例講演会  
8月22日(木)午後1時30分～3時  
メルヴェーユ(みなとみらい21)  
講師：日体大理事長・  
松浪 健四郎氏  
演題：「中東の文化とイスラム教の人々」

【お知らせ】 神奈川政経懇話会では、会報「政経かながわ」に会員企業の新商品の紹介、地域貢献活動、人事などジャンルを問わずさまざまな会員情報を掲載しています。掲載の問い合わせなどは事務局 ☎045 (226) 2121。

# 視点 点描



## 拡張続けるQRコード

5月末、JR東日本など首都圏の鉄道8社が、現在の磁気乗車券を順次廃止し、QRコードを印刷した乗車券に切り替えると発表した。実施は2026年度末以降で、新幹線などの遠距離券は含まない。鉄道各社によると、磁気乗車券の利用率は、交通系ICカードの利用が増えた結果、現在では5〜10%にとどまるそうだ。確かに、

通勤風景を思い返してみても、改札機に切符を投入している人を見かけることはほとんどなくなつた。にもかかわらず、切符が詰まつた改札機を駅員が直している場面には、なぜか遭遇する機会が多いように感じる。今回の変更が、改札機維持の負担を軽減する狙いもあると知って、合点がいった。一方で、セキュリティ面は大

丈夫かと心配になった。今やQR

コードは誰でも容易に発行できるし、コピーも簡単なので、悪いことを考える人が増えそうだなと思つたからだ。だが、大事な情報はコードそのものではなく、サーバーに保存されるようなので、直接的な複製を心配しなくてもいいようだ。むしろ心配すべきは、ネットワーク障害の方かもしれない。

切符の利用者は全体のわずか1割程度かもしれないが、万全の対策を期待したい。

ところで、今回の話題をきっかけに、QRコードの底力のようなものを改めて実感した。スマートフォンが読み込みに対応した影響も大きいと思うが、広告、商品説明、電子チケット、ポイント、航空券、決済など、QRコードは会社のあらゆる分野で活用され、もはやそれを見ないで過ごすことは不可能なのではないかと思えるほ

ど普及している。

そもそもQRコードは、工場の生産管理を行うために、デンソー（現デンソーウエーブ）のエンジニアらが1994年に生み出した技術だ。バーコードよりも大量のデータを格納できるようにし、工場ですら汚れても正確に情報を読み取ることができるよう「誤り訂正機能」を持たせるなど、あの独特な四角い模様の中には、驚くほどの工夫と技術が詰め込まれている。

だが、この技術と同じくらいにすごいと思うのは、特許を持ちつつも、誰でも自由に使えるようパブリックドメインにした点だ。独占せず、公共の利益に貢献する道を選んだ。第三者のアイデアが結び付き、活用の幅がどんどん広がる。次はどんな場面に登場するか楽しみだ。

（神奈川新聞社編成部長・

小野 たまみ）